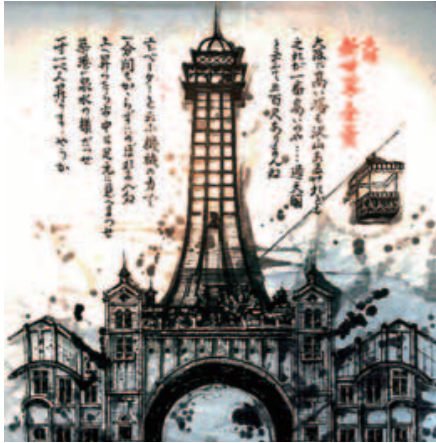




明治45(1912)年104年前の通天閣



いまも体に残る墨の雰囲気

なぜデザイン書道家に?

デザイン学校を卒業し、グラフィックデザインの仕事を25年くらいやってきて、ときどき“書き文字”をデザインに取り入れ、スーパーのチラシの「特価」や「歳末大商戦」を筆文字で書いたりしていました。普通の活字より書き文字の方がはるかに迫力があって訴求力があると思ったんです。そのときはあくまでもデザインのひとつとし



▲文字は書くというよりは、描くというイメージが印象的に仕上がりますね

私たちが日ごろ見ているテレビドラマをはじめ、駅で見かけるポスターやお店に並んだ商品のパッケージ。そこには個性的な筆文字でタイトルや商品名が躍っていて、目をひきます。わずかに数字でドラマや商品のイメージを伝える、そんな独創的な筆文字を書いているのがデザイン書道家の人たちです。

今回は、城東区今福東在住のデザイン書道家で“なにわの墨家ベンさん”こと佐伯勉さんにお話をうかがいました。

# 筆の力でデザインを生かす 「なにわの墨家ベンさん」

使っていたので、筆文字を生業にするとは考えていませんでした。

でも、コンピュータの進歩に加え景気の悪さもあって、デザインの仕事が厳しくなり、人がやらないことをやってみようとしてデザイン書道家に転向したんです。

もともと書道をやっていたのですか?

小学校の授業で習字をやっただけです。ただ、祖父が退職後に自己流で書道を始めたので、子どもの頃、家に行くときと筆がいっぱいあって、祖父はいつも墨をすっていました。文字ははっきり読めませんが、そういう墨の香り、書の雰囲気が私の体にも残っていて、なじみやすかったのかなと思いますね。

それに母も字を書くことが好きでした。これって血筋でしょうか?

習字の授業は得意でしたか?

小学校の習字の授業は私より上手な子がいっぱいいたので、書道は大した点は取れなかったと思います。

お手本どおりにきれいな字を書くという型にはまったことが苦手で、とにかく自由に書く方が好きでした。

いろいろなものを筆や紙に

今でも型にはまらない作品づくりを?

「筆」も「紙」も素材は限定せず、何でも使ってみます。たとえば、スチールウールたわしを割り箸にぐるぐる巻きつけたもので書くと、文字が毛羽立っておもしろいですよ。お茶をたてる茶せん丸くなったところを伸ばして墨をつけて書いたり。ティッシュペーパーをくるくる丸めたものや割り箸も筆の代わりに使えます。指で書くことだってありますから。

また、ダンボールを切ったものに墨をつけて版画にすることも。これだと何枚も



▲お手製のスチールウール筆。いろいろな素材を試してみると新しい発見が



佐伯勉さん  
PROFILE 筆文字、デザイン書道、イラスト、ワークショップ、パフォーマンス書道、講師など多岐にわたり活動中

- 1951年 鳥取県に生まれる
- 1985年 広告制作会社クリエイティブルーム・ベンを設立
- 1993年 日本広告筆文字協会発起、同副会長に就任
- 2002年 日本工業新聞広告大賞・電通賞を受賞
- 2006年 日本ハム「美ノ国」揮毫\*

※揮毫…毛筆で書くこと



▲2006年制作のロゴタイプ「美ノ国」は美の文字を特徴づけ、国を存在感ある表現に



花



創



つくれますが、墨の乗り具合で一枚一枚違った趣になり、カラーインクや絵の具を使えば、とってもカラフルな作品に仕上がります。(下記にも表記)

使う紙もいろいろです。裁断する前のトレットペーパーは結構にじんでおもしろいものが書けます。つるつるしたチラシのうらの白い面に墨を薄めて書けば、こちらはまだらに。そこに濃い墨をマッチングさせると、いい風合いになる。

また、筆の腹の部分でキッチンペーパーに書くと、水玉みたいになるんですよ。これ

はやっぱりデザインをやっていたからこそその発想ですね。紙とインクと筆がコラボすれば、表現が無限大に広がります。

佐伯さんにとってデザイン書道とは?

抽象的であったり、具象的に描かれた墨書は、無限の可能性を秘めています。ヒューマンティーにあふれたデザインと精通する“魂心”ともいえます。

限りない白と黒、無と有、このキーワードが常に緊張感を与え、表現する味わいを誘います。描いた魂の力を少しでも多くの方にお伝えできればいいですね。

今月の表紙 佐伯さんが解説!

鳥 今年の干支は、明け鳥ともいわれ、朝一番に鳴く縁起鳥。新春にふさわしく、堂々として、見上げる姿も勇ましく。



梅の花 昔から、梅に驚きといわれ、鳥との相性が良く調和します。清楚で気品高く、和歌や俳句にも必ず詠まれる梅の花。  
「鶏春」 正月のタイトルを迎春になぞらえて、鶏春と書きましたが、若干書き手の洒落っぽい感覚を味わってください。



▲日本の豊かな祭り文化にあって、伝統芸能は世界に通用する素晴らしい演舞です。文字と絵でお客さまとともに感じていただくポスターです

親子でやってみよう



リング状に切り抜いたダンボール紙に絵の具をつけてペタン!



棒状に切ったダンボール紙にも絵の具をつけてペタン!



丸く切ったダンボール紙にも絵の具をつけてペタン!



「早」のデザイン文字の完成!

ワンポイント!

親御さんが切り抜いてあげて、子どもさんがペタンと押して、親子で楽しもう!

ワンポイント!

子どもさんのお絵かきは、こだわりなく好きなように描かせてあげましょう。